

## 【自立活動通信】

※自立活動の実践報告は10月号より再度掲載します！



教育支援部内を中心に`十人十色、の内容についてミニ勉強会をしたあとに、ある先生からこんな質問がありました！！

「どうして子どもは物を広げたり、

片付けなかったり、投げたりするんでしょうね??」



物を投げるといふ事象について、今日は少し置いときますが、物を広げる（出してくる）、片付けない（物が出たまま…）ということは、学校でも家庭（我が家も。。）でもよくあることのように思います！！

私たち教員は、いかにうまく子どもたちが自ら片付けられるようになるかということを目標にしたり、出した物を整理してから次の行動に切り替えることができるようになって欲しいと望んだりしますが、子どもたちが起こす`物を出す（一見すると散らかす）、という行動にはどのような意味があるのでしょうか？

脳科学者の【茂木健一郎】さんは、著書「5歳までにやっておきたい本当にかしこい脳の育て方」（日本実業出版社）で、このように述べています。

〴〵（物を出す行為は）右脳（ひらめき等）発達、には必要不可欠、

〴〵おもちゃや物を箱から出すのは新しい発見をするため、

〴〵とりあえず広げてからおもちゃなどを組み合わせて新しい発見をするため、



### 高等部N先生の絵の先生から習った教え



N先生は、子どものころ絵を習っていた先生から「パレットには全ての色を絵の具チューブからパレットに出しなさい」「少しではなくたくさんの絵の具をパレットに出しなさい」と指導を受けてそうです。小さいころはなぜそのようなことを先生が言うのかについて考えたことがなかったそうですが、一昨年までおられたN先生（美術専門）も「小さい頃からいろいろな色を使うことで、色々な色を使うこと（混ぜって複雑な色になること、パレットが汚くなること）に慣れて、次第にパレットの使い方や配色（使う色の選択）が上手くなる」とおっしゃっていたようです。

部屋がおもちゃで散らかっていることとパレットの上がたくさんの色で混じり合っている様子は同じように思います。「ああ、今はこの子なりにいろいろなことを試しているんだな」という視点も必要かもしれません。

### 要するに！！

物をたくさん出したり、次から次に新しいおもちゃを出してきたりするという一見`散らかしている、という行為には、`創造する、新しいものを生み出す、という意味があるようですね。「片付けて欲しいな」という大人の想いを少しだけ横に置いて、子どもの遊び（行動）を見守ってみませんか。

